



代表取締役 **小出 竜馬**

繋がり

— tsunagari —

人々のカーライフをバックアップしていくべく、車に関する様々な業務を手掛けている『Link style』。その社名は、「人から人への紹介を通して、たくさんの人とつながっていきたい」という小出社長の思いから付けられたものである。

当然、社長はそういった考えを持つだけにとどまることはなく、着実につながりを得ていくための努力を積み重ねた。当初は苦しいスタートだったという同社だが、今では堅調な業績を保っており、そこそが社長の努力の証拠だと言える。

SPECIAL INTERVIEW

——まずは小出社長の歩みからお聞かせいただけますか。

——ここ愛知県春日井市出身です。祖父が左官屋の会社を経営していることから、父は祖父から仕事を貰う形で、今も左官屋の仕事をしています。私は父の影響を受けて、子どものころからずっと乗り物が好きな少年でした。モトクロスに始まり、小学生のころから中学3年生までジュニアクラスの四輪でレーシング活動をしていました。しかし、マイカーは一台約120万円で、車のメンテナンス費用も自己負担。レースごとにタイヤも替える必要がありますし、レースを長く続けていけば、それだけ家庭に負担をかけることになるんです。そこで私は高校に進学するタイミングでレースの世界から身を引き、車を整備する側に回ることを決意しました。そして整備士資格を取得することができた名古屋の高校へ進学し、卒業後は専門学校へ。そのころには、もうレースの世界への未練のようなものは、一切なくなっていましたよ。

——左官屋のお仕事を継ぐとは思わなかったのですか。

——思いませんでしたね。「自分は自分の道を歩む」と早い段階から決めていましたし、父もそんな私の考えを尊重してくれていました。祖父は左官の道に進んでほしいという気持ちも少なからず持っていたようですが、車に関わる仕事がしたいという私の決心が揺らぐことはありませんでした。

——専門学校を卒業した後は、『Leep』のディーラーでメカニックとして働き始めました。そして2年後に退職して、21歳のころに個人事業主として独立することに。7年ほど前の話です。周囲の方々からは「3

年は動めろ」という声もありました。しかし、高校生のころから独立心を持っていましたので、早めに独立に踏み切った形ですね。私としては、時期尚早だったとは思っていませんでした。自分が「今だ」と思った時こそ一番良いタイミングだと考えていますから。

——21歳で独立とは、決断力がありますね。滑り出しはいかがでしたか。

——車を2台入れることができる自宅のカーポートを倉庫にし、バイクガレージに扉を付けて事務所にしてスタートしたわけですが、最初はとても苦労しましたね。お客様も全くいらつしやいませんでしたし、書類関係も全く分かりませんでした(笑)。あんなにも車に関する知識と技術のみで、他になにもない状態だったんです。しかし「前に進む以外に選択肢はない」との思いで、お客様に来ていただくため最大限の勉強と努力を重ねていきました。その中で最も大事にしてきたのは、「つながり」という部分です。一度つながったお客様とは疎遠になっってしまうことのないように、積極的に「最近いかがですか?」とコミュニケーションを取るようになってきました。すると多くのお客様に継続的に来ていただけるようになり、業績も上がっていききました。そして約3年前、現在の拠点へ移転するに伴って当社を法人化したしました。地元への恩返しの意味も込めて、会社が大きくなるタイミングで、福利厚生などの部分をしっかりとさせてさらなる信用をつくらせていきたいと考えたのです。

——努力の甲斐がありましたね。では次に、社長が思う御社の強みについて教えてくださいいただけますか。



一番は若さの部分ですね。当社には4名のスタッフがいます。平均年齢は23〜24歳。技術の質やスピード、体力に優れている人材ばかりですよ。業務に関する強みで言うと、当社は輸入車を扱っている中で特にスーパーカーに強いですね。それは様々な業者さんとの強いつながり、結びつきがあってこそのもです。

——これからのさらなる成長が期待できそうですね。では最後に、今後の社長の夢をお聞きます。

——スタッフを増やして、自社のショールームを作ることです。そして、自社の整備工場もディーラー規模でできたらいいですね。ディーラーにできて、当社にできないわけがありませんから。他所ができて当社ができないことを挙げていき、それを一つ一つ消していくスタイルで今後も歩んでいきたいと思っています。

お客様のカーライフを全力サポート！ 若き車のスペシャリスト集団

愛知県春日井市を拠点に、中古車販売店・買取、新車販売、車検、整備・板金・塗装、カーコーティング、レンタカー事業などを手掛けている『Link style』。国産車から輸入車まで、そして軽トラックからスーパーカーまで幅広く取り扱い、丁寧な対応と高い技術力で着実に人々から信頼を集めている。人とのつながりを大事にしながら事業に邁進する小出社長のもとを、本日は俳優の大沢樹生氏が訪問。インタビューを行った。

Link style 株式会社
愛知県春日井市春日井上ノ町字黒鉢 168-4



GUEST COMMENT 大沢 樹生

(俳優)

「対談を通して、小さいころから車を愛してきた小出社長の熱い思いが伝わってきました。それほど好きな仕事であるからこそ、苦しいスタートを乗り越えて現在まで会社を成長させてこられているのだと思います。今後のビジョンについても明確に見据えられており、若いながらも聡明な面を備えておられるようでした」

